



株式会社大西農業社 代表取締役の大西氏

経営概要

株式会社大西農業社

- ◆代表者・所在地
大西 啓太 徳島県徳島市
- ◆設立
令和6年7月
- ◆経営規模
露地野菜10ha（カリフラワー、エダマメ、カブラ）
- ◆従業員数
常時雇用5名、パート・アルバイト2名
- ◆事業内容
カリフラワー、エダマメ、カブラの生産に取り組む。

1 現状と相談までの経緯

大西氏が新規就農し、売上を拡大するために経営規模の拡大をしていきたいと徳島県農業会議に相談があった。そこで、廃業する農業法人の農地を担い手として借り受け、経営規模の拡大に繋がった。その中で従業員の雇用環境をよりよくするために法人化を志向することになった。

専門家によるアドバイスを受けることで、よりよい社員が育成できるようになるのではないかと徳島県農業会議からのアドバイスにより、農業経営・就農支援センターを訪問した。

2 相談内容

廃業予定の農業法人の農地の貸し借りについてのフォローを頂くとともに、農業法人のメリット・デメリットについてお話し頂きたい。また、個人から法人化したことによる社会保険についての金額や雇用する際の注意点について相談したい。また賃上げに関する支援なども教えて頂きたい。

3 支援内容

■支援チームによる支援計画の策定

経営戦略会議を実施し、農地中間管理機構と連携した利用権の設定など相談対応による課題整理を行った。その後法人化に伴うメリット・デメリットについてと雇用環境の整備を専門家を派遣して社会保険や就業規則、業務改善助成金の活用などの指導・助言などを行うこととし、支援チームを編成し、支援計画等を策定した。

支援チーム構成員：

社会保険労務士、農業法人社長、普及指導員、農業会議事務局職員



経営戦略会議の様子

■専門家派遣を通じた助言の実施

支援計画に基づき、農業経営・就農支援センター・先進的な取り組みを行っている農業法人社長が中心になり、相談者との意見交換、疑問点・課題の整理を行い、その後、**社会保険労務士の派遣を実施するとともに、今回の分析や計画を元に、J A・普及指導センターと共に雇用環境の整備に向けた支援**を行った。

・経営規模拡大に向けた助言（農業法人社長）

法人化に向けた意見交換を行い、法人の形態・資金・土地などの疑問点や課題の整理、経営の方向性を明確にするための助言を行った。

・雇用環境整備に向けた助言（社会保険労務士）

社会保険について説明を行うとともに、就業規則や賃金体系について説明し、賃上げに関する業務改善助成金の制度について助言を行った。

・農地賃借に向けた支援（普及指導員）

農地中間管理機構と連携し、廃業した法人が合意解約した農地の新たな賃借、所有者と地番の洗い出しを行い、スムーズな賃借になるように支援を行った。

■ 支援を受けて・・・

意見交換を通じて、法人化に向けた疑問点や進め方の理解が深まり、無事法人化を行うことができた。また社会保険についてや雇用に関する取り決めなどを学ぶことで、今後起こる問題について予め対応できるように準備をおこなうことができた。

■ 今後の展開

専門家からの助言内容をもとに法人化したことで日本人の雇用や外国人の技能実習生の活用をすすめ、よりよい職場を作っていきたい。設備投資を進めながら、大西農業社を知ってもらうように努力していきたい。そして、今後は1億円の売り上げを目指す。



新たに借り入れたほ場でカリフラワーの収穫

喜びの声

法人化を行いました。が、先進的な農業法人の社長に話が聞けたこと、雇用に関する疑問や問題について早めに対処できるきっかけとなり良かったです。

専属スタッフ所感

相談者は、20代で就農5年目で地域の優良な担い手であり、今後県内農業の中心となる経営体です。法人化することで、経営面積を拡大し、地域に雇用を生み出すとともに、カリフラワーの産地化を推進して頂きたいと思います。今後は、雇用だけでなく、販路や販路拡大に向けた事業計画の作成についても支援を行っていきます。

<支援機関> 徳島県農業経営・就農支援センター

組織概要

■ 相談窓口

【経営・就農相談】

住 所：徳島県徳島市北佐古一番町5番12号
徳島県JA会館

電話番号：088-678-5611

受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）
8：30～12：00 13：00～17：00



徳島県JA会館外観

農業経営の法人化や経営継承、経営改善など、農業者の多様な経営課題の解決に向けた支援を行う常設の相談窓口であり、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士など26名の専門家を配置し、相談内容に沿った専門家を派遣しています。